

# 日本設備工業新聞

発行所  
(株)日本設備工業新聞社  
東京都渋谷区桜丘町10-13  
〒150-0031 野元第1ビル  
電話 (03) 3496-4774  
FAX (03) 3464-1884  
info@setubikogyo.co.jp  
年額8,800円(税込送料込)

**TOTO**



ようこそ、光のキッチンへ。  
**THE CRASSO**  
ザ・クラッソ

詳細はカタログまたは  
弊社WEBサイトをご覧ください。  
<https://jp.toto.com>

# 企業・団体と取引

## ブルーカーボンで温暖化防止

国土交通省は十月七日、東京・港区新橋の航空会館で令和三年度第一回「地球温暖化防止に貢献するブルーカーボンの役割に関する検討会」(座長・佐々木淳東京大学大学院新領域創成科学研究科教授)を開催した。ブルーカーボン生態系の活用に向けた取り組みを本格化する。藻場の保全活動などで創出されたCO<sub>2</sub>吸収量をクレジットとして認証し、CO<sub>2</sub>削減を図る企業・団体と取引を行うオフセット・クレジット制度などを試行する考えだ。

## オフセット・クレジット試行へ



佐々木座長 中原課長

ブルーカーボンは藻場や干潟などの海洋生態系に蓄積される炭素のこと。蓄積作用を持つ生態系をブルーカーボン生態系という。大気中のCO<sub>2</sub>(二酸化炭素)が光合成によって浅海域に生息するブルーカーボン生態系に取り込まれ、CO<sub>2</sub>を有機物として隔離・貯留する。二〇一九年に公表された国連環境計画報告書で、二〇二〇年以降の温暖化対策の国際的な枠組みとなるパリ協定では世界各国が温室効果ガス削減目標などを明示したNDCを策定し、五年ごとに国連気候変動枠組条約事務局に提出・更新するよう定めている。また一國が一年間に排出・吸収した温室効果ガスのデータ(目録)を毎年作成し、同事務局に提出すること

が義務づけられている。このため同省は令和元年度にブルーカーボンを活用してCO<sub>2</sub>吸収源対策を推進する同検討会を設置。これまでブルーカーボンによるCO<sub>2</sub>吸収量の定量的評価や新たな普及啓発策について議論を重ねてきた。

今年度の初会合では中原正嗣同省港湾局海洋・環境課長が冒頭あいさつに立ち「ブルーカーボン



国交省検討会で活発に意見交換

ブルーカーボン・オフセット・クレジット制度の試行をはじめブルーカーボンのインセンティブ作成、ブルーカーボンを活用したCO<sub>2</sub>吸収源対策のNDCへの組み込みなどを提示し、活発に議論した。

## 水系・流域一体の洪水予測へ

### 国交省 民間の予報提供制度も構築



沖座長

国土交通省の「洪水及び土砂災害の予報のあり方に関する検討会」(座長・沖大幹東京大学大学院工学系研究科教授)は十月五日、国民の多様なニーズにこたえる防災予報の提供に向けて報告書をまとめた。気象庁と連携し、水系・流域が一体と

なったり洪水予測や民間による予報提供制度の構築などを推進していく。

頻発化・激化する気象災害を背景として市区町村、地域住民、民間企業、自主防災組織などの地域コミュニティをはじめ、社会全体で防災対応や事業継続に対する意識が高まっている。これに伴い洪水・土砂災害に関する予報のさらなる高度化や利用者の多様なニーズを反映した的確な情報が求められている。

一方、研究機関や民間気象事業者などで洪水・土砂災害の予測に関するさまざまな研究や新たな技術開発が進んでいる。これらを積極的に活用し、洪水・土砂災害に対する的確な防災対応や速やかな避難の促進を図ることがきわめて重要だ。

このため今回の報告書では①国や都道府県による水系・流域が一体となった洪水予測の実施②国

の新たな可能性が注目されている中で、検討会は発足し、具体的な方策を打ち出すことをめざして昨年度は三回にわたって議論を深めた。今年度初の当検討会では基本方針を確認するとともに、当面のスケジュール案などを示す。皆さまのお示しを。皆さまの忌憚のないご意見を賜りたい」と述べ、積極的な取り組みを促した。

具体的な検討課題ではブルーカーボン・オフセット・クレジット制度の試行をはじめブルーカーボンのインセンティブ作成、ブルーカーボンを活用したCO<sub>2</sub>吸収源対策のNDCへの組み込みなどを提示し、活発に議論した。

## 管工機材

## 管友ネットワーク・グループ

## 住宅設備機器

# 安心・安全…おいしい水を提供する 直結給水装置



沖山産機(株)	墨田区墨田4-61-13 〒131-0031 TEL(03)5247-7131 FAX(03)5247-7133	(株) 角 産	練馬区平和台3-26-15 〒179-0083 TEL(03)3931-0701 FAX(03)3931-0702	(株) 慶 旺	渋谷区幡ヶ谷2-27-7 〒151-0072 TEL(03)3370-6251 FAX(03)3375-3910
// 柏営業所	柏市十倉二348 〒277-0872 TEL(04)7132-6361 FAX(04)7132-9270	// 東京西営業所	練馬区西大泉6-10 -2  〒178-0065 TEL(03)5387-5611 FAX(03)5387-5610	野村機器(株)	小平市小川町1-341-2  〒187-0032 TEL(042)342-2211 FAX(042)344-2211
// 小岩営業所	江戸川区本一色2-18-7  〒133-0044 TEL(03)3654-8111 FAX(03)3651-1245	// 足立営業所	足立区保木間1-11-2  〒121-0064 TEL(03)5831-0801 FAX(03)5831-0800	サンコー機材(株)	昭島市田中町1-36-12  〒196-0014 TEL(042)543-8811 FAX(042)546-5116
// 八丈島営業所	八丈島八丈町三根398  〒100-1511 TEL(04996)2-1402 FAX(04996)2-2102	// 葛飾営業所	葛飾区奥戸6-4-12  〒124-0022 TEL(03)5671-0391 FAX(03)5671-0394	// 昭島支店	昭島市田中町1-36-12  〒196-0014 TEL(042)541-3652 FAX(042)546-3536
(株) 岡 本	新宿区新宿1-11-15  〒160-0022 TEL(03)3356-4871 FAX(03)3356-4374	(株) 野村総業	杉並区荻窪3-47-15  〒167-0051 TEL(03)3393-2211 FAX(03)3391-4227	// 西多摩支店	羽村市羽加美1-7-1  〒205-0016 TEL(042)554-1151 FAX(042)554-7516
倉 地(株)	墨田区本所1-33-9  〒130-0004 TEL(03)3624-4441 FAX(03)3622-6894	// 東松山営業所	東松山市六反町15-12  〒355-0023 TEL(0493)23-2921 FAX(0493)23-9216	// 秋川支店	あきる野市瀬戸岡425-8  〒197-0803 TEL(042)559-5241 FAX(042)559-5205
// 松戸支店	松戸市大橋白幡1108-3  〒270-2224 TEL(047)391-5711 FAX(047)391-5777	(株) ノムラ	杉並区荻窪3-47-17  〒167-0051 TEL(03)3391-2211 FAX(03)3392-5616	// 八王子支店	八王子市桐田町223-1  〒193-0942 TEL(042)668-2261 FAX(042)668-2271